

# ナシ「あきづき」の着色区分による適期収穫判定

福島県農業総合センター 果樹研究所

## 1 部門名

果樹 - ナシ - 収穫

## 2 担当者

額田光彦

## 3 要旨

ナシ「あきづき」は外観の色(果面色、地色)から適熟の果実を判断することは難しいとされている。そこで、収穫適期を判断する指標を作成するために、収穫果の特性を調査し検討を行った。

- (1) 果面色のL値(明度)は満開後146日から大きな変動が見られなかった(表1)。a値(数値高が赤、数値低は緑)、b値(数値高が黄、数値低は緑)および地色指数は明瞭ではないが、満開後160日頃まで高まる傾向が見られた。表面色指数については、「豊水」用のため測定が困難であり、一定の傾向が見られなかった。
- (2) 着色区分別(図1)の果実品質は、地色指数、表面色指数および果面色のa値では着色区分が高位になるにつれ高い値を示した。また、RM示度も同様に高まる傾向が見られた(表2)。食味調査結果において、食味良好な着色区分は3~4であった(表3)。
- (3) 以上のことから、「あきづき」の収穫適期の指標として、着色区分(ていあ部の着色状況):3~4、地色指数:3.5~4、果面色a値:7~10、生育日数:155~160であると推察された。

表1 「あきづき」の果面色、地色指数、表面色指数の推移

調査日	生育日数	果面色			地色指数	表面色指数
		L	a	b		
9月10日	141	56.3	1.7	33.8	2.7	2.8
9月15日	146	58.2	2.4	35.9	2.8	3.7
9月18日	149	56.6	2.8	34.7	2.8	3.3
9月24日	155	58.1	5.0	36.2	3.6	3.9
9月29日	160	60.0	7.2	38.8	3.4	3.3

注1) 地色指数は二ホンナシ地色用カラーチャートの値

注2) 表面色指数は二ホンナシ「豊水」用カラーチャートの値

表3 「あきづき」の着色区分別食味調査結果

着色区分	食味調査			
	肉質	果汁	甘味	総合
1	3.0	4.0	3.0	3.0
2	4.0	4.0	3.0	3.5
3	4.0	4.0	3.5	4.0
4	4.0	4.0	3.5	4.0
5	3.0	3.5	4.0	3.0

食味調査は5段階評価

表2 「あきづき」の着色区分別果実品質の比較

着色区分	果重	地色指数	表面色指数	果面色			硬度 (lbs.)	R M 示度	pH	リンゴ酸 (%)
				L	a	b				
1	625	2.6	2.7	60.3	0.7	36.3	3.7	11.9	4.86	0.11
2	640	3.1	3.1	57.7	3.7	36.2	3.5	12.7	4.87	0.10
3	571	3.6	3.5	60.0	7.2	38.8	3.7	13.5	4.78	0.11
4	620	4.0	4.1	57.9	9.6	38.1	3.7	13.8	4.76	0.11
5	560	4.6	4.9	57.9	10.9	38.1	3.7	13.8	4.82	0.10
F値	3.60	158.76	68.48	4.07	58.52	6.51	0.84	-	-	-
	*	**	**	**	**	**	ns			

注1) 地色指数は二ホンナシ地色用カラーチャートの値

注2) 表面色指数は二ホンナシ「豊水」用カラーチャートの値

注3) \*\*, \*はそれぞれ1%、5%水準で有意差あり

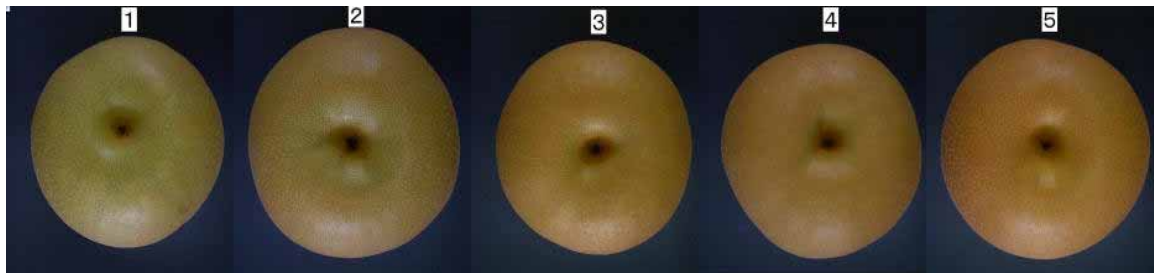


図1 着色区分別のていあ部の着色状況

## 4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19年度茨城県農業総合センター試験成績概要(2007)